

地域住民への普及啓発（国の事業のキ）作業部会報告

作業部会員	杉本 浜子（吹田市医師会立ケアプランセンター）
	岩濱 圭子（垂水居宅介護支援事業所）
	金子 智晶（垂水訪問看護ステーション）
	胡桃 有理（大阪府済生会吹田病院 福祉医療支援室）
	下村 光明（大阪大学医学部附属病院 保健医療福祉ネットワーク部）
	平松 瑞子（市立吹田市民病院 医療相談室）
	畑中 良子（平海病院 医療福祉科）
	遠藤 翼（吹田徳洲会病院 医療ソーシャルワーク室）
	宮下 昌也（健康医療部地域医療推進室）
事務局	林 美奈子（内本町地域保健福祉センター）
	長本 裕美子（内本町地域保健福祉センター）
	川口 紀子（吹田市岸部地域包括支援センター）

開催日時	第1回	平成29年 8月 3日（木）13時30分～15時
	第2回	平成29年10月17日（火）13時30分～15時
	第3回	平成29年12月18日（月）13時30分～15時

1 目的

地域住民が在宅医療や介護について理解し、在宅での療養が必要になったときに必要なサービスを適切に選択できるよう、地域住民を対象とした出前講座について検討する。
また、リーフレットの普及啓発機会や看取りに関する情報提供の方法について検討する。

2 内容

日常的に医療や介護が必要になった場合でも在宅という選択肢があるということを認識してもらうとともに、人生の最終段階をどのように過ごすのか考えてもらう機会となるような媒体を作成する。

3 成果物

地域包括支援センター、医療機関、介護保険事業所等が使用できる出前講座案を作成。
所要時間は20分程度で、地域包括支援センターの出前講座（認知症予防、成年後見制度、健康づくり等）等と組み合わせて使用する。

医療や介護サービスの詳細は、平成28年度に作成したリーフレットを使用して補足する。

また、具体的に在宅での看取りを考えている人向けの情報提供ツールの1つとして、吹田市立図書館とパスファインダー（特定のテーマについて、資料や情報を探すための手順を簡単にまとめたもの）を作成。吹田市立図書館や地域包括支援センター等に設置予定。

4 出前講座案の使用方法

対象者、所要時間、組み合わせる講演会等のテーマによって、スライドの追加等も可能とする。
使用しているアンケート結果は2種類（案1、案2）で、どちらかを選択する。

案1 第7期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画にかかる高齢者等実態調査結果

案2 医療に関する市民アンケート調査結果

5 平成30年度の予定

地域包括支援センター等で出前講座（認知症予防、成年後見制度、健康づくり等）を実施予定。
また、出前講座の内容の見直しやパスファインダーの更新、他機関との地域住民を対象とした講演会の実施等についても検討していく。